第64回船橋市地域公共交通活性化協議会

会議録

日時:令和6年7月9日(火)午前 10 時00分~11 時 50分

場所:船橋市役所 9階 第1会議室

発言者	内容
事務局	お暑い中またお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 会議に入ります前に委員についてご説明いたします。本協議会の委員の任期は 2 年間であり前回に委嘱させていただいた委員の任期は昨年度末までとなっておりますので、改めて委員をお願いしております。任期は同様に 2 年間となり令和 8 年 3 月 31 日までとなりますのでよろしくお願いいたします。なお、委嘱状及び辞令は皆様の机の上に置かせていただきましたのでご確認ください。本日は委員 36 名のうち現時点で 31 名の方にご出席いただいております。船橋市地域公共交通活性化協議会設置要綱第 10 条第 2 項に定められた成立要件の過半数を満たしておりますことをご報告いたします。 マイクの操作説明 会議の内容はホームページにて公開しておりますので会議内容の録音及び写真撮影をさせていただきますがホームページに公開する以外の用途には使用いたしませんのでご了承いただきますようお願いいたします。 配布資料の確認 なお、委員の任期は、令和6年3月31日までであったことから、現在会長の職と副会長の職が空席でございます。 会長、副会長は不在であることから、「船橋市地域公共交通活性化協議会事務局規程」第2条第1号により、会議招集させていただきました。 会長が互選されるまで、引き続き事務局で仮議長として会議の進行をさせていただきます。
仮議長	ただいまから「第64回船橋市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。本会議につきましては「船橋市地域公共交通活性化協議会会議運営規程」第2条第1項に基づき、公開することといたします。 議事及び報告の1つめは「会長の互選及び副会長・監査委員の指名」についてです。「船橋市地域公共交通活性化協議会設置要綱」第6条に基づきまして、会長の互選を行います。ご意見等ありますでしょうか。

委員	副市長の西水委員を推薦いたします。
仮議長	ただいま、西水委員を推薦するご発言がありましたが、いかがでしょうか。
委員	異議なし
仮議長	それでは、西水委員に協議会の会長をお願いするということで、ご承認いただけましたので、西水委員はネームプレートをお持ちになり、会長席へご移動をお願いいたします。 なお、以後の議事進行は会長にお任せいたします。
議長(会長)	就任の挨拶。 つづきまして、不在となっている副会長につきましては、「船橋市地域公共交通活性化協議会設置要綱」第7条第1項に基づき、会長が指名すると定められておりますので、私の方から指名させていただきます。 副会長につきましては、船橋新京成バス株式会社 常務取締役営業部長窪田智之様をお願いしたいと思います。窪田様よろしいでしょうか。
委員	了解いたしました。
議長	ありがとうございます。それでは、ネームプレートをお持ちになり、副会長席へご移動をお願いいたします。
委員(副会長)	就任の挨拶。
議長	また不在となっている監査委員につきましては「船橋市地域公共交通活性化協議会設置要綱」第15条第2項に基づき、会長が指名すると定められておりますので、私の方から指名させていただきます。監査委員については一般社団法人千葉県タクシー協会京葉支部 支部長代理小池満尚様及び市民代表の早川淑男様に引き続き受けていただきたいと思います。よろしく願いいたします。それでは、議事及び報告の2つめ、「鎌ヶ谷観光バス有限会社 路線バスの廃止」について、事務局より説明願います。
事務局	事務局説明。
鎌ヶ谷観光バス	本日は貴重なお時間ありがとうございます。 弊社が運行しております新鎌ヶ谷から千葉ニュータウン中央駅までその間に船橋市の小室駅を経由しておりますが、今年で約十年を迎えました。当初

	から乗車の人員があまり伸びない中やってきましたが、その間は観光部門のバスの方から補填をする形で10年間運行してまいりました。しかし、昨今のコロナに対する状況からかなりひっ迫し会社の経営自体がかなり厳しい状況に陥ってまいりました。今回3線全て廃止という動きになりましたがやはり今、ニュース等でも騒がれております運転手の不足、燃料の高騰、車両の老朽化に伴う修繕費がかなりかさみ、なかなか思うように運行が出来ない状況がかなり続いておりました。今回分科会のほうで協議をしていただいて10月1日付けにおいて全線廃止として承認いただいております。またこれについては廃止までの期間短縮等も検討は引き続きお話ししておりますが、10月1日付けの廃止に向けての減便ということで、1日1便1往復を6月22日からダイヤ変更という形で運行しております。約10年色々なお客様に乘車していただき本当にありがとうございました。公共交通はこれからかなり厳しい時代になっておりますので是非皆さんの貴重なご意見を市のほうに反映していただいてより良い公共交通ができること願っております。
事務局	鎌ヶ谷観光バス様ありがとうございました。 なお、千葉県バス対策地域協議会印旛分科会にて、今後の生活交通の確保については沿線市の地域公共交通会議等で協議することとなりましたので、今後、必要に応じて本協議会で協議を実施いたします。事務局からの説明は以上となります。
議長	ありがとうございました。 鎌ヶ谷観光バス様と事務局からの説明につきまして、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。
委員	私から3点ほど伺いたいと思っております。 1点目が鎌ヶ谷観光バスの資料5の路線については千葉県バス対策地域協議会印旛分科会にも出席いたしまして内容については把握しておるんですが、具体的な協議結果についてHP上にて公開されていると伺ったんですけど本日の廃止にかかる協議はいつからどのように行われたという部分については補足してご説明いただきたいというのが1点目でございます。 2点目は協議が終わったということですが、今鎌ヶ谷観光バス(有)様から10月1日をもって廃止と承りまして具体的な道路運送法に基づく事業の路線廃止の手続きがもう行われたのか、国に対してこれからなのか、今の時点で具体的な情報をいただければありがたいというのが2点目であります。 最後は6月22日より1日1運行で運行中ということでありまして大変経営が苦しいと伺いまして安全に配慮した運行が続けられていると思うんですが、具体的な運行の利用者のどのくらい1日に乗られているのか、わかる範囲で結構でございます。また、10月1日に向けた具体的な客への周知に

議長	ついて何時位からバス停等に貼り出すのかこの辺について補足して説明いただきたい。 以上3点よろしく願いたします。 はい、ありがとうございました。 3点協議結果の経緯と、道路運送法上の手続きの状況と、現在の総利用者数について 鎌ヶ谷観光バスで答えますか。事務局で答えますか。
事務局	ご質問の内容から千葉県にご説明いただくのが一番わかりやすいかと思うので、①番は千葉県にお願いして、②番と③番については鎌ヶ谷観光バス様にお願いしたいと思います。
議長	じゃあお願いします。
委員	千葉県交通計画課です。私の方からは廃止の協議の時期ということですけど、協議の申し出を千葉県バス対策地域協議会にご提出いただいたのは3月の、正確な日付は今把握してないんですけど3月の10日前後に鎌ヶ谷観光バスのほうから正式に路線の廃止に関する協議の申し出をいただきまして、資料5に書いてある通り最終的な協議年月日が令和6年5月17日というところがございます。バス対策協議会の方には3月10日前後に申し出があったんですけど事業者さんのほうから沿線の船橋市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市に事前に情報の提供はあったというところは聞いております。情報提供いただいたうえで対策地域協議会に皆さんお集まりいただいてここに記載のある協議を行ったというところがございます。
議長	ありがとうございます。それでは鎌ヶ谷観光バス様お願いいたします。
鎌ヶ谷観光バス	はい、10月1日の廃止に向けての提出等ですが、本日船橋市の会がありまして、明日は白井市の会に行ってもまた聞くということになっております。ですので、今月下旬もしくは8月上旬には陸運局のほうに書類提出をしたいと考えております。告知に関しましては最低でも1カ月以上バス停に告知をしようと思っております。回数券の販売に関しては6月の末ですべて販売は停止としておりまして払い戻し等については随時やっている状況になります。また、6月22日から減便し、1日の乗車数に関しては現在平日で平均1往復になるんですけど13人から20人が平均かなと。週末に関しては10人前後という形で乗車のほうをしていただいております。以上になります。

議長	どうもありがとうございました。
委員	丁寧にご説明いただきありがとうございます。 印旛分科会の廃止の経緯については承ったのですが、具体的にこの協議結果が公表されているのかご説明がなかったようなので、公表されているのかという点と、鎌ヶ谷観光バスから回数券が6月末で販売終了とご説明いただきまして、これについて道路運送法上の手続きが終わっているのかどうか鎌ヶ谷観光バスさん所有のWebサイト等で周知の予定があるのかどうか最後に重ねて確認させていただきたい。
議長	協議結果の公表状況についてよろしくお願いたします。
委員	千葉県交通計画課です。協議結果の公表については分科会に参加している行政機関、千葉県交通計画課、千葉運輸支局及び沿線の4市のHPや掲示板等で公表させていただいております。以上です。
議長	ありがとうございます。 続いて回数券の手続きの状況等、HPの公表について鎌ヶ谷観光バス様お願いたします。
鎌ヶ谷観光バス	回数券に関しまして、陸運局の方に連絡はしております。陸運局から丁寧にお客さんに対応してくださいと伺っていますのでそれに準じてお客様のほうからそういった旨があれば払い戻し等行っております。廃止の時期について短縮になるか等もあったので弊社のHP上でも具体的にいつになるかあげていませんが廃止の日にちが確定した時点でHP上には廃止の旨、随時アップさせていただくことになっています。お客様の問い合わせについても廃止に向けての減便ということでその辺ご理解いただくような説明を随時していくことになっております。
議長	ありがとうございました。 そのほかにご意見ご質問等ございますでしょうか。 鎌ヶ谷観光バス様お忙しいところ丁寧にご説明いただきましてありがとうございました。「鎌ヶ谷観光バス有限会社 路線バスの廃止」に関する報告は以上となります。 (鎌ヶ谷観光バス様退席)

	それでは、議事及び報告の3つめ、「令和5年度 船橋市地域公共交通活性化協議会決算(案) 及び 令和6年度 船橋市地域公共交通活性化協議会予算の補正(案)」について、事務局より説明願います。
事務局	事務局説明。
議長	ありがとうございました。 事務局からの説明について、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。
委員	私からは補正をされた案についてお伺いします。過去から毎回このような承認を得る形をとっているのか、船橋市地域公共交通活性化協議会財務規定の14条が手元の資料に無くどういうものかわからないので今回の補正予算の承認を求める原因となる理由をご説明いただけるとありがたいです。
議長	ありがとうございます。 事務局のほうお願いします。
事務局	事務局でございます。 今回新しく任期が始まった方に対して財務規定をお付けしなかったのは大変申し訳ございませんでした。以後気を付けたいと思います。今のお話について船橋市地域公共交通活性化協議会財務規定の中で、先ほど申し上げた通り、第3条が予算の補正となっており、会長は会計年度の途中において規定予算に補正の必要が生じたときはこれを調整し協議会の会議に諮り承認を得なければならないと記載されております。昨年2月の時点ではまだ5年度の決算が確定しておりませんでした。繰越金や、市の負担金について微妙な差金が出た関係で調整がございましたので、今回は補正させていただきました。以後必ず財務規定をお付けして会議に諮るようにしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
委員	十分理由はわかりましたので、私から意見として今後の対応でお願いしたいのは、今回令和6年の3月末で委員の任期が皆さん切れてしばらく会長が不在であり、先ほどの議事で西水会長が今日選任されました。会長不在の中で事務局の補正予算を作ることが、今回の議決で明らかになるので、こうした補正については書面でも可能ですし会長がいる中で協議会で選任された後にこうした協議がされた方がよいと思われまので、ご検討いただければと思います。私からは以上です。
議長	ご意見ありがとうございました。 そのほかにご意見等ご質問ありますでしょうか。

	よろしいですかね。 それでは、お諮りいたします。 「令和5年度 船橋市地域公共交通活性化協議会決算(案) 及び 令和6年度 船橋市地域公共交通活性化協議会予算の補正(案)」について、事務局の提案のとおり、承認することとして、ご異議ございませんでしょうか。
委員	異議なし。
議長	ありがとうございます。 それでは以上の内容で、承認することといたします。 それでは、議事及び報告の4つめ、「船橋市地域公共交通計画 第1回事業評価(案)」について、事務局より説明願います。
事務局	事務局説明。
議長	ありがとうございました。 ただ今の件について、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。
委員	1点質問させてください。方針3の取り組み 3-1 の③について公共交通の多目的な運営について、今回の評価では 2 つめの項目でしょうか。協議会が主催となって乗務員募集説明会を開催。非常にありがたいことだと思います。今後の取り組みのところに同様の内容が入っていないのですが、今後同じような説明会を開催する予定があるのかどうか伺いたいと思います。お願いします。
議長	ありがとうございます。 事務局のほうから回答お願いします。
事務局	事務局です。もちろん今後も進めていこうと思っていまして、今予定しているのが来年の2月に市川市とまた合同でバス・タクシー乗務員募集説明会の開催を予定しております。継続的に今後も説明会を開いていこうと思っております。 以上です。
委員	ありがとうございます。 まさに乗務員不足は直近の課題で、私たちも、一助になればという思いで運転者の魅力発信のプレスリリースを12月と3月に行ったりしました。今後専用のホームページを立ち上げたりとか第3弾のプレスなんかも予定しているところがありまして、もしよろしければまたこちらのホームページのリンク

	貼っていただくとか連携させていただけたらと思っておりますので是非よろしくをお願いします。以上です。
議長	はい、ありがとうございます。 これは事務局、資料修正しますか。
事務局	今後の取り組みのほうに継続して行うという内容で資料修正したいと思います。
議長	よろしく願いいたします。
委員	令和5年度の事業報告について、具体的にどこまで終わったかという事業報告はこの評価案で済ますのかまた別途あるのか確認したいです。 また、評価資料に対して令和5年度はどのくらいのところまでいっているのか、この協議会の中で一応示していただいたうえで事業評価案を取るという方がより計画の進行について向上していくと思いますので、これについてはぜひご検討いただきたいというのが私の考えなのですが、事務局の考えをお伺いしたいです。
議長	ありがとうございます。 では令和5年の事業報告についてと評価指標について事務局のほうからお願いします。
事務局	事業報告については前回の協議会でもご指摘いただいた通り、令和8年度までの短期の事業の中の一回目評価を今回実施いたしますが、それが令和5年度ということです。ただ、計画自体が令和4年の12月に策定されていて、年度とちょっとずれている感じがありますので、今回の第一回目の評価は、令和5年1月から令和6年3月をもって令和5年度の事業評価になると考えております。そのなかでどこまで進捗しているかという目標値のほうが先ほど委員がおっしゃったとおり計画が119ページに載っております。なので、目標値のどこまで行ったかということについては今後協議会のほうでお示ししたいと思っております。よろしく願いいたします。
委員	目標値を入れた事業評価を今後やるということですね、よろしく願いします。 それで、この事業評価案で毎年の事業結果の報告を兼ねるという部分については議論があることかと思えます。グリーンスローモビリティを例に船橋の地域公共交通にとって重要な事項を取り入れるといった大きな計画があるのであれば進捗をこの協議会の中で報告書としてあげていただきたいです。時

	間のかかることかと思いますが是非ご検討いただきたいと思い重ねて発言させていただきます。以上です。
議長	ありがとうございました。 では事務局のほうで検討よろしくお願ひいたします。 そのほかにご意見ございますでしょうか。
委員	よろしくお願ひいたします。最後の方針4の取り組み4-3について、今後検討いただきたいことがあります。船橋市さんは、グリス口の視察や情報交換会、連絡会議、連合会議に参加され、情報収集について非常に努力されているのだと思います。これに参加した中で船橋市のバス・タクシー等において情報があれば今後、分科会で共有いただければ水平展開という意味で非常にいい流れができるのではと思いますので、ご検討お願ひします。
議長	ありがとうございます。 それでは事務局のほうでご検討よろしくお願ひします。
事務局	バス・タクシーワーキンググループ等ありますので、そういう中で情報共有等していきたいと思っております。
議長	よろしくお願ひします。 ではそのほかにご意見ご質問等ありますか。 よろしいですかね。 それではお諮りをいたします。 先ほどご指摘いただいた説明会の部分、その点を事務局のほうで修正したうえで「船橋市地域公共交通計画 第1回事業評価(案)」について、提案と修正、承認することとして、ご異議ございませんでしょうか。
委員	異議なし。
議長	ありがとうございます。 それでは以上の内容で、承認することといたします。 それでは、議事及び報告の5つめ、「令和5年度・令和6年度の公共交通不便地域解消事業実施状況及び運行経費の見直し」について、事務局より説明願ひします。
事務局	事務局説明。
議長	ありがとうございました。

副会長	それでは、ただいまの事務局からの説明について、何かご意見、ご質問等あればお願いします。 では副会長。 我々の会社では八木が谷線と丸山循環線をやらせていただいております。千葉ブロックの単価で計算すると、船橋の道路状況と、千葉や館山や銚子までも千葉の圏域となり、単価が同じになってしまいます。船橋市の道路交通の状況は、道路渋滞がかなり多く、その間も軽油代や人件費がかかります。そのため地域の実態に応じた輸送原価の算定をお願いしたいわけです。提案にありました千葉県内全域ではなくて武蔵相模の単価を採用する案について、ベットタウンである観点からも、一歩近づいたかなと思っております。しかし、我々としては事業に実際にかかる単価、コストを計算して足りない分に関して補助金をいただきたいと考えております。ただ、まずは第一歩としてこちらの提案を採用したいと思います。
議長	ありがとうございます。 そのほかご意見ございますでしょうか。
委員	前回はこれについては画期的な新しい考え方の取り組みであるとして、歓迎的な意見を述べさせていただいたと思います。そのうえであえて申し上げたいのが P23 にありました通り、千葉圏ブロックの運送原価が実際にかかるコストと大きく違うことが明らかになっております。詳細は副会長がおっしゃっていたため私はあえて重ねては言いませんが、一方で、国土交通省の乗り合いバスの運賃を認可するにあたっての仕様では既にブロックごとの単価に加え事業者の実績に基づく単価も考慮されており、現在もう運用が始まっていると伺っています。今回検討した単価について、いつから運用が開始するかは明らかにはなっておりませんが、乗り合いバスの運賃の算定の実施状況を踏まえながら検討することが必要ではないかというのが1点目です。 2点目について、資料では、田喜野井線が 44.2%ということで、路線の存続にも影響するというご意見もございました。しかし、あくまでもスタートの時はこの八木が谷、丸山、田喜野井この3線は交通空白地域を支えるために議論して現在も運行が続いていると伺っています。 ある程度この運賃の見直しをしたらこれがなくなるということではなくて、少し枠組みがかわったので新たな協議をして最低でもいつまでは保証するかそうした、いつからこの運賃をやって田喜野井線がなくなるってというのがわかるような形ですとかですね、だからこの田喜野井線の利用者の方にとってみると運行経費の見直しにより、収支率が 50%以下となる予想が出ており、これが 2 年連続だと廃止になってしまうという誤解を受けかねないっていうのもありますので、こうした本日はいつまでにこれを決めなければいけ

議長	ないって部分が事務局からありませんでしたがこうした進行管理についても並行してですね情報提供いただいてこの協議会で十分な協議をすすめることが必要とありますので、まあこれについて今後のご予定がちょっとなかったんですけど、そこが質問として1点確認させていただきたいと思っています。よろしくお願いいいたします。 ありがとうございます。 では今後の見通しについて事務局のほうよろしいですか。
事務局	今回の報告について、前回からこうした考えを示しているところであります。そして、次回11月の活性化協議会で承認事項としてあげ、そこで承認されれば4月から運用していきたいと思っております。今後、武蔵相模ブロックの単価を適用して終わりということではなく、副会長がおっしゃられたとおり最初の第一歩として、今後の動向もブロック単価等を注視していきたいと思っております。また、国の運用している実際の運行経費を踏まえた単価についても注視して情報収集しながら考えていきたいと思っております。以上です。
委員	どうもありがとうございます。 今年の11月に協議会で承認を求めるような事務局のお考えが伺えましたので、バス協会から事前に事業者なり、またこの3社の利用者の方々でも十分調整をしていただいてですね、ある程度予見される内容は事前に情報提供したうえで11月に決めていただくというような事前の周知が重要となると思いますので是非これについてはよろしくお願ひしたいと思ひます。私からは以上で終わります。
議長	はい、ありがとうございます。 利用者の方々の調整非常に重要だと思いますのでその点よろしくお願ひします。 そのほかありますでしょうか。
委員	どうもありがとうございます。 経費の見直しについては皆さんからお話しありましたとおり実態に合うように、それを前向きにとらえていただけていると思っております。 田喜野井線が50%を切る事が想定されている収支率について、以前からこの路線に関してポテンシャルはあると思うのですが、どうしても道路の状況等から小型の車両しか使えないというところが問題になっていたと思ひます。乗り残しもあると聞いていますので、それを解消しない限り収支率を上げていくのは難しいと思ひます。この問題について、検討状況がどうなのかやは

	り難しいのか、何らかの方法を考え、検討されているのかお聞かせいただければと思っております。
議長	ありがとうございます。 田喜野井線の今後の見通しについて事務局からお願いします。
事務局	事務局よりお答えいたします。 先日、田喜野井地区の近隣の運行ルート上にある町会長様達と京成バス様と市で会合をもちまして根本的に道路を広げないと、ポンチョバス、小型バスを導入することは難しいという物理的な問題がわかっております。以前4回ほど試走やっているのですが、結局どうしても通れない箇所が3箇所あり、そのうち1か所だけは道路拡幅できたのですが、残りの2箇所は住宅が張り付いており下がってもらわないと道路拡幅ができないという状況でした。そのため物理的にポンチョバスを導入するというは無理な話だということでその会ではご了解いただいております。そうすると今の朝夕の2台運行、昼は1台運行のハイエースはMAXで12人乗れるため、一日当たりの収入のMAXが28便で約75万となり、そこに合うように運賃を上げていくしかないという結果がその会議の中で出ました。お金の上限が決まっている中で50%以上収支率を上げていかなければ継続出来ないため、今までのように昼間少ない時間帯の周知とかではなく、もう少し根本的に収支率を上げる方向で検討していきましょうという状況に、今はなっております。以上です。
委員	ありがとうございました。 運賃を見直して上げるのも地元が受け入れられるのであれば一つの案だとは思いますが、他との公平性の問題もありますので難しい問題もあるなと思っております。こういった事情がある中での50%という基準が適正かどうかについては議論が必要かなと思いました。
議長	ありがとうございます。
委員	私も事務局からお話のあったとおり何度か会議をしまして皆さんに50%を切ったら廃線になってしまうかもしれないという話をしております。ただ先ほど先生がおっしゃったように、需要というのはあります。というのも今私共のエリアの中で新京成バスの新しく動かしておられる路線の利用者が最近だいぶ増えており、相当数待っている方がおられると聞いています。これは別の話ですが、もう少し本数を増やすことをお願いしたいなと思っております。まあそういった現状の中で一つはPR不足というのもあるかなと思っております。ただいかんせん道が狭いところに立地されていますので、応急策を話しているところですが、事実上色々話をした結果難しいなということなのです。だとすると

議長	収支率が50%切るといふ状況は可能性としてあると感じています。その状況でどういった形で残していくか。あるいは先生がおっしゃったように収支率50%は妥当かどうかもう一度検討してもらおう。とにかく需要はあるが路線の中では無理かもしれませんが、別の路線を通る等の方法もあるかと思われまゝ。廃線は我々としては、できれば避けていただきたいなと思っております。それに対して町会それから我々連合会も含めて皆で相談した中で町会単位の皆さんに配布をしていこうとかいうような考え方も持っています。そんな形でぜひ残っていく方を期待して発言を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。 ご発言ありがとうございました。 そのほかにご意見ご質問等ありますでしょうか。 よろしいですかね。 ありがとうございます。「令和5年度・令和6年度の公共交通不便地域解消事業実施状況及び運行経費の見直し」に関する報告は以上となります。 それでは、議事及び報告の6つめと7つめ、「運賃協議分科会の設立及び要綱改正」と「交通空白地域の定義変更」について、まとめて事務局より説明願います。
事務局	事務局説明。
議長	ありがとうございました。 事務局からの説明についてご意見ご質問等ありますでしょうか。
委員	一点補足とあんまり心配していないのですがお願い事がございます。 補足としまして、国土交通省の通達がございました交通空白地域の定義変更について。 これについてはもともとラストワンマイルモビリティに関する検討会がございまして、地域公共交通のあり方や、議論の中で自家用有償運送を活用するにあたって、交通空白地域を明確化したというのがメインでございまして、資料の抜粋では、その変更された部分だけになっていますが、基本的な考え方として、地域公共交通のサービスの在り方については地域公共交通会議で議論を重ねていくことが重要ということですね。 交通事業者さんに影響があるような導入の仕方を交通会議で交通空白がないという理由でやってしまうと公共交通自体に影響を与えかねないので、基本的には交通事業者、緑ナンバーによる持続的で利便性の高い公共サービスを第一に検討模索があり、それでも不十分な場合には自家用有償旅客運送を組み合わせる前提がございまして、このような内容にはこういった前提が必要だと思っておりますという補足が1点目です。

	2点目のお願いとしては、今申し上げた通り、まずは地域の公共交通活性化が重要になってきますので、分科会の場で事業者さんと協議を重ねていただくということが重要というところがあるのでお願いしたいと思います。ただ、今日の協議の内容を見ても、船橋市さんがそれを第一にやっていただいているというのは認識していますので心配していませんが、念のため補足でございます。
議長	ありがとうございます。 そのほかにご意見ご質問等ありますでしょうか。
委員	私からは2点ございます。 まず一点目は資料 7-1.7-2 で船橋市地域公共交通活性化協議会設置要綱にかかる報告の内容について本題のとおりでございますが、重ねて確認させていただきたいのは、今回運賃協議分科会にて協議を行う内容が今後分科会の運用にかかる規定はどのようになるのかって部分が明らかでない部分があります。第4条のですね(3)の但し書きが追加されたと報告にあります。この中には当事業の一般乗合旅客事業自動車運送事業の運賃にかかる事項は運賃協議分科会にて協議を行う。すなわち、乗り合い旅客運送の運行にかかる経費については乗り合い一般旅客自動車運送事業以外にも観光バスが行う国土交通大臣の許可を受けた乗り合い旅客運送、もしくは自家用バス、病院バス等自家用バスで行う乗合旅客有償運送、まあこれも千葉運輸支局の許可にあると思いますが、こうした乗合旅客運送の対応もこの協議会でやるようになっていきます。これらの貸し切りの乗合旅客運送もしくは自家用バスによる旅客運送はこの運賃協議会、分科会によらないでこの協議会で検討するというふうに理解しておりますがそれでいいのかをまず確認したいのと、第4条(3)の但し書きの中に、「同事業の一般乗り合い旅客有償運送事業」となっている個所があり、この有償は自動車じゃないかと思われるのですが資料 7-1.7-2 でどちらが正しいか言っていただきたいです。私は 7-1 が正しいと思って発言しているのですが 7-2 が正しいのであればそれは言っていただきたいと思います。 それから 2 点目は報告事業のもう一つの方で交通空白地域の定義の変更について、国土交通省の考え方、定義が変更されたという報告として受け止めました。今回改定の内容見ますと、船橋においても高齢化率とか独居率といった人口構造の特性、勾配など例えば道が狭い等の道路状況を考慮して、必ずしも 30 分未満とする必要がないのではないかという考えだと思えます。これはですね船橋市の中で公共交通計画もありますけども既にある 3 線に加えて交通空白地域のどの地域を空白にするかっていう部分に非常に大きな影響を与える内容であります。今回は国土交通省の考え方が変わったという報告であって、公共交通計画にこの内容をどのように入れていくかにつ

	いては今年度また議論があるのかどうか。この2点確認させていただきたいです。よろしくお願いいたします。
議長	はい、ありがとうございます。 それでは事務局の方からよろしいですか。
事務局	事務局です。 委員がおっしゃるとおり、正誤表の方が間違っております。資料7-1の4条のほう为正解ですのでこちら訂正させていただきます。 観光バスや、自家用貸し切りバスについてはこちらの公共交通活性化協議会で取り扱ったことはないと思います。なので今後取り扱うつもりはないのですが、その旨をどこかにはっきりと書いた方が良いか、どうしたらいいでしょうか教えていただきたいです。よければそのようにいたしたいと思います。質問に質問で返して申し訳ないです。
委員	本日の質疑を議事録に残していただければ、委員としては今後の運用になりますので条項の解釈ということで処理していただければ私は結構です。
事務局	ありがとうございます。 それから交通空白地域の話について、今までの基準だと船橋市に交通空白地域はありませんとどこでも大きな声で言っていたのですが、1Kmの縛りがなくなるとそう言いづらくなってしまいう状況にあります。かといって皆様のお手元にあります公共交通計画では鉄道駅では平らなところだと750m。坂道があるところだと600m以上離れたところ。バス停だと350m以上離れたところ。あと1日のバスの本数が45本未満のところっていうかなり厳しく公共交通不便地域重点地区を設定しています。船橋市の中で不便地域、重点地域を抽出して現在12か所ありますけど、この30分に満たない数値をわざわざ設定し、これをもっと増やすということは現在考えておりません。以上です。
委員	誤解されないように発言させていただきます。 私からは見直せということではなくて本日は国土交通省の考え方が報告書としてあげられていますが、船橋市はこれが出たけれども今まで通りだよというのは、委員のご承認を得たほうがよろしいかと思いましたので発言した次第です。以上で終わります。
議長	ありがとうございます。 それでは他にご意見ご質問等ありますでしょうか。

	よろしいですかね。それでは「運賃協議分科会の設立及び要綱改正」と「交通空白地域の定義変更」に関する報告は以上となります。 議事及び報告の最後、「船橋市地域公共交通計画の主な取り組み」について、事務局より説明願います。
事務局	事務局より説明。
議長	ありがとうございました。 それでは事務局の説明に対してご意見ご質問等ありますでしょうか。
委員	先ほど31ページのご説明いただきました船橋駅北口のデジタルサイネージ化の件について、当社が乗り入れているバスターミナルというところになります。この乗り場の8番乗り場は臨時でほとんど使っておりませんので、1番乗り場から7番乗り場の表示を文字だけの表示になっているものをデジタルサイネージの表示にするという形で、かなり入れ替わりますので、いろいろな情報量が増えます。あと東武百貨店の前で時刻表が張り出されている板がありますが、それを、情報表示板とすることで遅れの状況の表示や、多言語の表示ができ、こちらバス停の方でも展開しますでそういったところでお客様への情報展開を広くするというところになるかと思えます。こちら補助金として国から令和5年度の補正の予算としてつけていただきました一千百万円のを6月にいただくことに決まりましたのでその一千百万円と、船橋市さんからいただいています約六百万円というところと自己資金約一千二百万円というところでその構成で実行させていただくところでございます。国からの補助金の支給が決まりましたので急いで発注の手続きいたしまして、事業取り組ませていただきますのでご協力の程よろしくお願いいたします。以上です。
議長	詳細な説明ありがとうございました。
委員	今回、坪井地区のグリーンスローモビリティがこのあと10月下旬から11月中旬の30日間なんですけど、これで実験データを収集して、要望によっては少し伸ばすこともありうるのかどうかという点について伺いたいです。今回日本大学の理工学部と包括連携協定っていうことで、実際にですねこれを始めるときに運営組織を結成するとか運行管理やるとなりますと地元の地区の方々ですねご協力も重要となってくると思えます。車両賃貸借は、船橋市が車両メーカーとの間に入っていますが発足からですねお金がどのように必要になるか、実際買った場合はもっとお金かかるんじゃないかと思うんですけど、こういった情報をほかの地区でも、やる時はこうなるよっていう部分がある程度わかるように情報の蓄積をしてこの公共交通会議にもご提供いただくと、船橋市の新しい風ですかねこの部分では出来ないことは出来ない

	っていう話もあると思いますんで、その辺についてはぜひ情報を提出いただきたいです。 質問になりますけど2点。 一点目はこれ無償でやるということで、ずっと無償でやると決まっているのかどうかですね。有償化っていうことがある程度実験の結果によっては将来考えるのかどうかこれは現時点の話で結構ですのでお伺いしたいのが一点。それからもう一点。副会長からデジタルサイネージについて国からとあと船橋から600万円という話が有って、千葉県の方には予算はお願いしたのかどうか。それともそういう制度的に無理だとお断りされたのかどうかこれについてちょっと補足してお伺いできればと思います。以上です。
議長	ありがとうございます。 グリーンスローモビリティの方からお願いします。
事務局	事務局からお答えいたします。 今年度は30日間のレンタルという形で船橋市で予算を取って、30日間のレンタカーのパッケージみたいなものをメーカーさんに作っていただいたのでそれでやっております。実際の話、購入した方が国の補助金もありますし、県の補助金もありますし、最終的に購入した方が安いと思いますが、あくまでも、私共は今運行している公共交通不便地域解消事業、3地区の路線バスとは別の新たなバージョンとしてグリーンスローモビリティの設置を考えておりますので、基本的には継続を考えております。 なので実証運行をしてみて、地元のボランティアの方々、利用者の方、停留所とかでご協力いただいた近隣の商業施設、病院の方々のお話を聞いて、先ほど委員が言ったようにいろいろなデータを集めてグリーンスローモビリティの船橋モデルみたいなのが出来たならば、その他の公共交通不便重点地区の12地区、他のまだバスも何も運行していない所に使えるようにシェアしていきたいと思います。 それから有償か無償かなんですけど地元の熱意が非常に高く、是非私たちが俺たちが運転手になりたいというすごい熱意のあるところでしたので、基本的には地元のボランティア運転手さんによる無償運行で考えております。 もし今後有償となると、またそれこそ陸運局の届出などを協議会の場でお願いをして届出日数の短縮のためのお願いをすることとなるんですけど、現時点では無償で考えております。 それからデジタルサイネージの補助金について先ほど委員に言っていて船橋市が約600万円という話でしたけど、その中に船橋市が千葉県からいただいた約300万円も入っておりますのでもちろん千葉県からも補助金をいただく予定となっておりますのでご報告させていただきます。

委員	貴重な情報ありがとうございます。 一点聞いていいですか。今のご答弁であえて確認させていただきたいのが、30日間レンタルということでこれを伸ばす場合はお金がかかるから伸ばすのは難しいんですよね、このレンタルで船橋市が負担する30日間のレンタル料おいくらで借りたのか差し支えなければ教えていただければと思います。
議長	はい、お願いします。
事務局	今年度の船橋市のグリス口の予算が全部で165万円です。そのうちのほとんどがレンタル料で、あとはいわゆる光熱費であるとか細かいところで運転者講習代も含めてほしい150万円くらいで30日のパッケージだと考えていただければと思います。
議長	ありがとうございます。 そのほかご質問ありますでしょうか
委員	第三回バス・タクシー乗務員募集説明会の開催ということで、先ほど説明があったんですけど、6月29日に10時から12時そして9名の方がいらっしゃったということなんですけども、その9名の参加人数に対してどういう評価をしているのかということと、今回、第3回目ということなので1回目2回目と変更点があるのか、さらに4回目に市川の方で開催予定ということなんですけど、これについて参加人数を増やす施策があるのかどうかお伺いしたいと思って質問しました。以上です。
議長	ありがとうございました。 では事務局のほうからお願いします。
事務局	事務局です。 多分9人が多いか少ないかという話ですけど、事務局としては9人という人数は評価しています。よく来ていただいたと思っております。 今までは、それぞれのバス事業者様、タクシー事業者様が個別に説明会を行っていたと思うんですけども、やっぱり平日開催しても1人2人しか来なかったりとか、そういったことを聞いていましたので、今回のように事業者さんを皆さん集めることによって、たとえばタクシーしか興味のない方がバスも聞いてみようかなとかいう形で色々選択肢が広がっていくのではないかなというようにもなっておりまして、皆さんに協力いただいて開催したところです。な

	ので、数的には9人は少なく見えますけどよく来ていただいたと思っております。 そして、いままでやってきた中で変更点があったかというところでなんですけど、最初はハローワークと提携して平日に開催いたしましたけど、それが平日の午後で、8人だったと思います。それでもうちちょっと集まらないのかということで2回目は土日開催してみようということで今年の2月は日曜日の午後に市川市と合同で開催し15人ほど集まりました。その際は市川市さんもいろいろ広報PRしていただいたところです。そこで今度は土曜日の午前でやってみようというような形で今回開催したところですが、色々試しながら、手を変え品を変えやっているところです。次回また市川市の方で合同で開催を予定していますが、今度は土曜日の午後ということでやってみようかなと考えております。PRの方もいろいろなところに協力していただいて展開していますので今後も継続して続けたいと思います。以上です。
委員	ありがとうございます。
議長	それではほかにご意見ご質問ありますでしょうか。 よろしいですかね。 それでは本件については以上となります。 最後に、その他として「次回の開催」について、事務局より説明願います。
事務局	事務局説明。
議長	はい、ありがとうございます。 最後に、委員の方から、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。 それでは以上をもちまして、「第64回船橋市地域公共交通活性化協議会」を閉会いたします。皆様、本日はお疲れ様でございました。
一同	ありがとうございました。

以上